

匝瑳市環境審議会 議事概要

第1 日時

平成22年7月30日（金） 午後1時30分～午後2時40分

第2 場所

市民ふれあいセンター 第3会議室

第3 出席者

委員：秋葉信一、石田健治、伊藤照子、梅原一郎（会長）、片岡正裕、須合英猶（副会長）、須合由夫、松本和浩、林義男、古谷宣夫、山本繁樹 以上11名（五十音順）

（欠席委員：伊知地宮子、鎌形利一、熊切清、若狭毅彦 以上4名）

代理出席：大利根土地改良区・大木管理課長（鎌形利一代理） 以上1名

事務局：岩橋課長、佐久間副主幹、加瀬主任主事 以上3名

第4 議事次第

1 開会

2 あいさつ

3 議事

（1）匝瑳市環境基本計画基礎調査報告書について

（2）匝瑳市環境基本計画の進捗状況について

（3）次年度のスケジュールについて

（4）その他

4 閉会

第5 議事概要

下記のとおり

1 開会

2 あいさつ

(梅原一郎会長から挨拶を行った。)

3 議事

(議長：梅原会長)

※市環境基本条例第27条第1項の規定により、会長が議長となる。

(1) 匝瑳市環境基本計画基礎調査報告書について

「匝瑳市環境基本計画基礎調査報告書」の記載内容に関し、事務局から概要を説明した。

《以下質疑等》

(事務局から補足説明)

先ほど説明した報告書に関しては、今年度策定を行う基本計画の基礎資料となるものということを改めて承知願います。

議長

アンケート調査に関し、市民アンケートについては回収率約30パーセントであるのに対し、事業者アンケートは回収率が約49パーセントと、数値が低く思われるが、回収率を上げることはできなかったのか。

事務局

市民アンケート実施にあたって、アンケート対象者については、住基台帳をもとにして地区、世代別に抽出を行いました。実施に当たり十分な日程が確保できれば、回答を促す督促等もできましたが、今回は行うことができませんでした。また、事業者アンケート実施にあたっての対象事業所については、経済センサスの事業者名簿をもとに回答の可能性が高いと思われる事業所を抽出しました。

市で実施した他のアンケート調査の結果によると、回収率は通常3割程度が目

安ということで伺っています。

議長

市民の声を聞くという点で、サンプル数を増やしてほしいと感じている。

委員

報告書39ページの電気使用量に関する項目と、45ページの温室効果ガスの削減目標に関する項目について、この見方を教えてほしい。

事務局

電気使用量については、東京電力に過去の数値等を問合せところ、体制変更等の理由により、データを公表することが出来ないとの回答を受けました。しかし、本計画を策定する上で、エネルギー資源に関する記載は重要な項目になると考えられますので、参考数値ということで記載しました。

削減目標について、地球温暖化防止実行計画は平成20年度末に策定し、21年度から24年度までを計画期間としています。本計画は、市域全体のCO2排出量を対象としたものではなく、市役所施設等を対象にしたものです。全体のCO2排出量の6パーセント削減を目指し、その排出源の多くを占める電気及び燃料について、それぞれ削減目標を設定しているものです。

《その他意見等なし》

(2) 匝瑳市環境基本計画策定の進捗状況について

「匝瑳市環境基本計画（骨子素案）構成検討資料」に基づいて、事務局から計画の構成及び各章の概要について説明を行った。

《以下質疑等》

委員

2ページの環境分野の説明に関し、自然環境、快適環境が区分され、それぞれに説明が付されているが、特に農耕地に関しては、先ほど基礎調査の概要説明に

において、「農地は純然たる農地ではないが緑地に含める」とあった。この区分の説明内には農地に関する記載はなく、区別は難しいものと思われるが、あえて記載を行わなかったものか。

また、今後、第5章の基本施策を記載していくとの説明であったが、ワークショップ等で提出された意見は市の施策として反映されるのか。

事務局

環境分野の説明において農地の記載が含まれていないとの指摘でしたが、あえて記載をしなかったものではありません。農地に関しては、生物等の生息環境の観点からは自然環境に、田園風景という景観や緑地という観点からは快適環境に含まれると考えられます。明確に区分することが難しいものです。あえて記載しなかったものではありません。

基本施策への意見の反映については、参考にしつつ今後の事業を検討していくものと考えています。

委員

自然環境の中にアカウミガメの産卵に関する記載があるが、実際に匝瑳市内において産卵はあるのか。

また、ワークショップで出された課題が市の施策に取り入れられるのか。

事務局

先日もウミガメの上陸が確認されましたが、目撃情報等は寄せられています。しかしながら、産卵は確認されているものの、孵化までは確認がされていない状況です。

また、ワークショップから出された課題も視野に入れて施策を検討することになりますが、個別の内容に関するものは対象に考えていません。施策検討にあたっては、今後の各課ヒアリングや基本構想における取組み内容等に照らして作成を行います。(今後のスケジュールを簡略説明)

補足として、ワークショップは、これまでに施設見学を含めて6回開催し、活発に議論をいただいています。ワークショップにおける議論を重要視し、取り上

げるため記載しました。しかしながら、必ずしもすべてを反映できるものではありません。

《その他意見等なし》

(3) 今年度の予定について

「匝瑳市環境基本計画策定業務の進捗状況・進行予定について」に基づいて、事務局から今後の審議会の開催予定、審議内容等について説明を行った。

《以下質疑等》

議長

今回は事前の資料提供等がなかったが、各自持ち帰り、内容等を確認のうえ、不明な点等あれば事務局に連絡していただきたい。

事務局

次回、計画の内容がまとまり次第、出来るだけ早めに提示させていただきたいと考えます。また、今後、気が付いた点等があれば、連絡をいただきたい。

《その他意見等なし》

(4) その他

議長

環境像にも記載のある「海」に関して、個人的感想だが、浸食等の影響によって、今年は堀川浜海水浴場が閉鎖との結論に達した。他の海水浴場、例えば飯岡の状況では、浸食対策等により海水浴場が回復してきているようだが、そうした対策には市単独では困難であり、また、費用と時間もかかる。吉崎浜ではサーフィンが盛んで多くの観光客が訪れており、先日もトイレが整備され、さらに盛り上げるために隣接した場所に直売施設等を設ける計画を立てても、国有地等で困難であると聞いている。観光客の減少など危惧している状況である。

事務局

先日、野栄総合支所において会議を開催し、海匠地域整備センターから市議及び県議に対して、海岸浸食の状況及び対策に関する説明を行ったと聞いていますので、参考にお知らせします。

また、8月7日に海岸清掃等のイベントを、明日7月31日はのさかふれあい祭りが開催されますので、併せてご案内します。

《その他特になし》

4 閉 会

以 上